

2023 年も国内外でさまざまなことがありました。

3 年半続いたコロナウイルス感染症もまだ散発しているものの 5 類感染症に移行したことで病院の負担も大幅に軽減しました。ただし、症状があっても今まで我慢してきた患者さんが多く来られ、われわれの周りでも手術症例は随分と増えました。

一方、働き手の人口減少が顕著となり、物流でのドライバー、タクシーの運転手などが不足しております。2030 年には通信規格も 6G となるそうで、自宅にしながらアバターやロボットを通じて手術をできるようになってくるかもしれません。2024 年 4 月から働き方改革が始まりますが、現在の救急体制を維持しながら医師の働き方改革が実現できるのか、本当に難しいことだと思っています。

今回の根尾昌志先生が取り上げられた「始まった！ 脊椎ロボット手術」は、泌尿器あるいは外科領域での da Vinci と比べて、ナビゲーション機能を有し、3 次元情報をもとに正確に椎弓根スクリューを刺入する装置のようです。各論文において日本国内で使用許可されている 3 つの脊椎ロボット Excelsius GPS、Mazor X、Cirq を用いての使用経験、成績、課題について述べていただいておりますが、とりわけ脊柱変形が強い症例ではこのような脊椎ロボットの価値が高いと思われます。また、術中透視を使用する時間が少ないことから、医療スタッフへの放射線被曝が少なくなることも利点と思われます。

この編集後記を書いている間に石川県で元旦の日の地震が起きました、多くの家が倒壊し、大勢の方が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げ、1 日も早い復旧を心よりお祈りいたしたいと思います。

また、翌日には羽田空港で復旧支援の海上保安庁の飛行機と JAL の飛行機との衝突事故がありましたが、海上保安庁の皆さんのご冥福を祈るとともに、JAL に乗っていた 379 人の全員が助かったということに JAL の乗務員の普段からの訓練と乗っていた全員の冷静な対応に心より感心いたしました。

思いがけないことが起こった際に、冷静にきちんと対応するのはわれわれの日々の手術においても重要なことであるとしみじみ思っています。

大変なスタートとなった 2024 年ですが、脊椎脊髄ジャーナルの読者の皆さんのご健康とご多幸を心よりお祈りいたしたいと思います。

(飛驒一利)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小柳知彦
田代邦雄 国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 37 No. 1

(2024 年 1 月 26 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円 + 税)

(配送料別)

年きめ予約購読料 33,300 円 + 税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当：山岸)

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2024,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。